

輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）

※申請者名：株式会社アグリ・コーポレーション

品目：かんしょ、かんしょ加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

長崎県の五島列島では、台風や干ばつなどの気象災害に強いことや、時化で海上輸送が叶わない時にも島民の命を繋いできたことから、「かんしょ」が広く栽培されてきた。当社は地区内の未利用農地や耕作放棄地を活用し、有機JAS認証農地に転換することで高付加価値な「かんしょ」の生産・販売量の拡大に繋げ、収益性の向上及び雇用の安定確保をめざしている。また、青果物の販売だけでなく、2019年に食品工場を建設し、ベビーフード及び「かんしょ」ペーストを中心に「かんしょ」加工品にも力をいれている。令和元年より香港の有機市場をターゲットに青果の有機安納芋を輸出してきた。

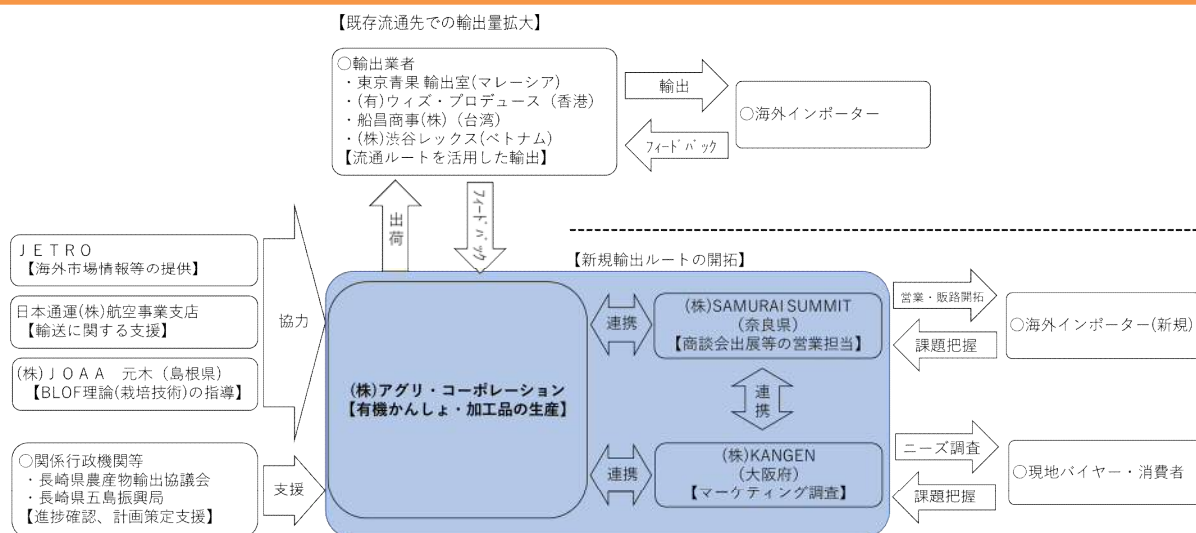
【課題】

生産面：有機かんしょの栽培技術向上、ロット確保に向けた栽培チームの形成、需要に対応した栽培技術の確立
加工面：腐敗率低下に向けたパッケージングの検討、既存施設を活用したキュアリング技術の確立
流通面：取引価格の維持・向上のための流通ルートの一歩化
販売面：有機マーケットの確立、HACCP取得による新たな商談機会の確保、有機かんしょペーストの需要把握

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・有機かんしょの栽培面積拡大、栽培チームの形成（地区内の生産者との連携）によるロットの確保
- ・専門家の協力を得た有機栽培技術の向上と、需要に応じたサイズを量産できる栽植密度等の栽培技術の確立
- ・長期輸送に対応できるパッケージングの作成、キュアリング機能を持たせた小規模施設の活用
- ・輸出向け商談会への出展によるニーズ把握と新たな販路開拓
- ・HACCP認証の取得
- ・業務用有機かんしょペースト及びペーストを活用した加工品の消費者ニーズの把握と販路開拓

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

（単位：千円）

品目	輸出実績 (R元年度) 現状	輸出目標 (R5年度)	備考 (輸出先国)
有機かんしょ	500	20,000	香港、シンガポール、東アジア・東南アジア
有機焼き芋	0	2,000	香港、シンガポール、東アジア・東南アジア
有機かんしょペースト	0	9,000	香港、シンガポール、東アジア・東南アジア、欧州